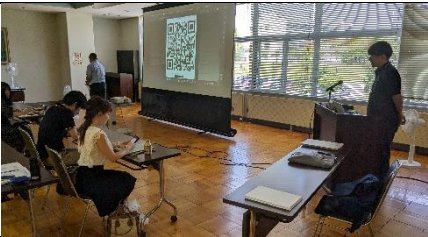
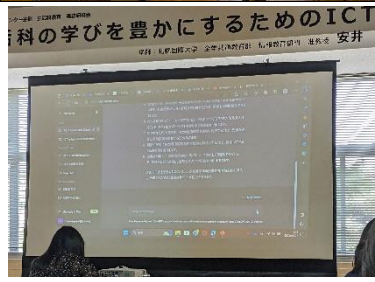

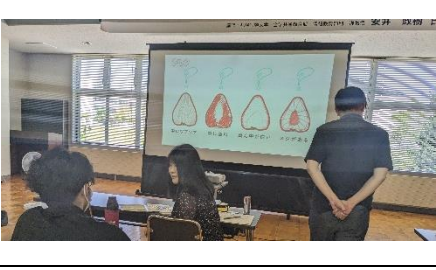


生活科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	「生活科の学びを豊かにする ICT 活用」について	
日時	令和 5年 8月1日 (火)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	<p>安井 政樹氏</p> <p>(肩書：札幌国際大学 スポーツ人間学部 スポーツ指導学科 准教授)</p>	
参加者	28名	
研修会 の 様子		<p>① 部長挨拶</p> <p>研修に先立ち、部長から講師の紹介を行った。現場を経験している安井先生の話はとても親しみやすかった。</p>
		<p>② 講演 1</p> <p>受講者のニーズがどこにあるのかを探るために、「Padlet」を活用した。ワードクラウドが展開され、自分たちが打ち込んだ情報がすぐさま反映されていた。ChatGPT の紹介がされた。労働世代が減っていく中、AI 化せざるを得ない日本の現状がある。</p>
		<p>③ 講演 2</p> <p>カメラで撮影したデータを Padlet で提出し、共有した。撮影した写真をクラウドで即座に共有し、コメントを書きあったり、「いいね」をつけあったりすることができた。生活科でも使えるようなアイデアですぐにでも実践出来そうなツールだった。</p>
		<p>④ 講演 3</p> <p>いちごの観察を例に、観察の視点について考察した。「いちごを縦に切ったらどうなるだろう。」植物や動物の観察一つにしても、事前学習を行うことで、明確な視点をもって観察に臨むことができる。その手立てとして ICT 機器を有効活用していくことができる。</p>
		<p>⑤ 講演 4</p> <p>市町村ごとに使用している OS が違うため、OS を選ばずウェブ上で使えるツールをいくつか紹介していただいた。これからの未来を担っていく子ども達のために、まずは私たちが実践を積み重ねていきたい。</p>